

NPO あかい屋根広報紙 発行: 特定非営利活動法人 あかい屋根 ひまわり編集部 044-976-0444

ひまわり 第 506 号 2018/10/1

NPO Akaiyane 特定非営利活動法人 あかい屋根

図書室から Book Guide No.232

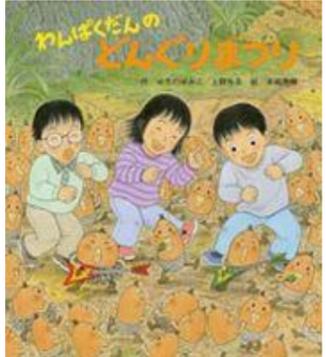
わんぱくだんの どんぐりまつり

ゆきのゆみこ 上野与志/作 上末崎茂樹/絵

ひさかたチャイルド 1200円+税

いつも不思議なことに会おう「わんぱくだん」。「わんぱくだん」の3人が森でどんぐり拾いをしていて、大きなどんぐりが転がりだしました。追いかけていく3人。すると、どこからか「どんぐりまつりがはじまるよ。」と声がして・・・

ファンタジーを通して、自然への営みへも目を向けたお話です。祭りに参加して、どんぐりたちと楽しく遊ぶ3人でしたが、やがて木枯しが吹いて、祭りは跡形もなく消えてしまいきます。「どんぐりまつり」は、子どもであるどんぐりが大きな木になる前の最後の祭りだったので。そのことを知った3人は・・・



第6回 すがお手つなぎまつり

場所：地域子育て支援センターすがお 蔵敷こども文化センター 菅生分館

11月10日(土) 10:00~14:00 (雨天決行)



- ・菅生中学校吹奏楽部演奏
- ・模擬店
- ・パラシュートで遊ぼう
- ・クラウンショー
- ・コンサート
- ・工作コーナー
- ・宮前兄妹写真撮影コーナー
- ・保育園の先生によるショー
- ・生田高校吹奏楽部演奏
- ・その他たくさんのお出し物

主催 すがおてつなぎまつり実行委員会

すがお手つなぎまつり連絡会
 地域子育て支援センターすがお 菅生分館
 NPO あかい屋根(蔵敷・菅生こども文化センター)
 菅生保育園・南菅生保育園

菅生中学校区地域教育会議
 道親ネットワーク
 (川崎市教育委員会「地域の寺子屋事業」)



多くの自治会も協賛してくれているまつりです。川崎市が提唱する「地域包括ケアシステム」では地域の誰もが手を取り合って住みよいまちづくりを目指しており、合致する「すがお手つなぎまつり」も第6回を数えます。

ぜひご来場いただき、楽しみながら交流を深め、「安心して子育てができる町すがお」をみんなで作り上げていきましょう。

みなさんのお越しを心よりお待ちしております。 実行委員会一同

なが い お役人 編集後記 65

◆菅生3丁目からセンターへは上り坂。その途中に放置自転車があった。区役所に連絡して撤去するようお願いすると、すぐに様子を見に来てくれてハンドルに撤去する旨の紙をホッチキスで止めると「一週間程度で撤去します」とのことだった。「さすが『大川崎市の宮前区』。対応が早くて凄い」と心で拍手!

◆「ありがとうございます。撤去までの間、センターの駐輪場で預かりましょうか?」とお節介かと思いつつ声を掛けると「民有地からは撤去出来ないことになっている」とのこと。「そりゃそうだ」と納得。「では、簡単に紐でガードレールに結わいておきましょうか?」と提案。「それも困ります。持ち主がわからないのに他人の所有物に手を加えては!」と断れた。

◆「私がこのようなことを申し上げるのは、ここは『歩道』だからです。子どもも通れば、お年寄りも杖を突きながら通る。バギーの車がこの自転車にぶつかって倒れたら赤ちゃんは大ケガをするかもしれない。だから撤去できるまでの間の措置を提案しているのです。」と言ったのだが、「困ります」「良いとは言えません」の一点張り。

◆日本国憲法第99条で公務員は「憲法を尊重し擁護する義務」を負うことは私も木端役人だったから知っている。でも1週間の間、このままでしものことがあったらと考えられないだろうか。いい加減な木端役人だった私は、きっと「ありがとうございます。結わいておいてくれると助かります」と言ってしまうだろう。なぜなら法を守ることはもちろん大切だが、法は一人ひとりの国民の命を守るために存在しているからだ。命を守れなくて何のための「法」だろう。

——話しは変わって——

◆センター上の建材業者の入口前の電信柱に大きな

スズメバチの巣が作られているのを中学生が見つけてセンターに知らせてくれた。防衛省に連絡したら日曜日だったので守衛さんが見に来てくれた。「大変だ!今日は職員がお休みなので、明日伝えておきます」とのこと。翌日、「〇〇次官の△△と言います」と電話が掛かってきた。次官であろうと長官であろうあなたは私の上司ではない。肩書から名乗ったことにまず驚いた。続いて「電信柱にスズメバチの巣があるのなら東電の仕事ではないか。私たちには関係ない」とのたまわれた。この人と話しても無駄と思い「お電話いただきありがとうございます」と電話を切った。「見に行きましたけれど大変ですね。子どもたちに危害が及びませんように」の一言もなかった。

◆続いて東電に電話したら「電線にかかっているのなら東電で撤去しますが」との返答。「え?ちょっと待って。電信柱は東電が建てたのではないの?」と少し声を荒げてしまった。その声に驚いたのか「担当を確認に向かわせます」との返事。その日の内に見に来た担当者は「撤去しますが、あまりにも大きすぎて業者でないと無理なので依頼します。1週間くらいは待ってください」とのこと。撤去当日は「子どもたちが危険の無いように6時過ぎにやりましょう」と配慮をいただき、スズメバチの巣は台風前に撤去され事なきを得た。

◆頭でしか考えていないお役人で良いのだろうか。私は菅生の地で住民から「住民こそが主体者」であることを教えられ、そのお手伝いをするのが行政の役割と学んだ。川崎市が提唱している「地域包括ケアシステム」は「誰もが住み慣れた地域や自ら望む場で安心して暮らし続けることができる」ことを目指している。住民も、行政も、企業も「法」「決まり事」を優先すべきではあろうが、暮らししていくための「困り事」を解決する手段は心を大切に、みんなで見つめることが必要ではないか? 統括館長 針山直幸

頑張ったぜ！ 菅生中職場体験



9月20・21日の2日間、菅生中学校2年の生徒5名が、菅生こども文化センターで「職場体験」を行った。

毎年実施しているが、菅生こども文化センターの実習は「きつい」との評判だそうだ。9:30から18:00まで、職員の勤務と同様の時間を体験してもらっているが、他の事業所は午前中で終わりになることもあるとか・・・。「折角の社会体験の機会を十二分に味わってもらいたい」「働く意味と喜びを知ってもらいたい」との願いから、こども文化センターでは「責任」をもって利用者に接してもらおうことを心掛けている。

「いつもは遊びに来ている施設の職員は準備など、こんな苦労をしていることを知りました」と最終振り返りの時間に申し合わせたように中学生は感想を述べていた。



「ONEぱーく」 「はぐるま農園」とコラボ



知的に障がいのある仲間たちがいっぱい働く作業所「はぐるま稗原農園」に「ONEぱーく」の子どもたちが9月22日にお邪魔し、無農薬で育てた野菜を収穫体験させていただいた。ナス・ピーマン・パジルそして特製ピザソースをいただき、調理場所の菅生こども文化センターへ。

子どもたちがピザ作りに挑戦。野菜を刻み、ピザ生地を伸ばしてトッピング。「はぐるま農園」の方も菅生こども文化センターへと足を運んでくれて、一緒にピザ作りに参加してくれた。

ドラム缶をピザ窯に加工したもので焼いた枚数は20枚。火の輻射熱と戦いながら3台の窯でワイルドに焼き上げたピザと、採れたて野菜のトッピング

はまずいわけがない。

子どもたちの食欲に火が付き、はぐるま農園の方も食べたい気持ちを抑えて見守っていた。子どもたちの満腹中枢が満たされ、食べるスピードが落ちたころ、ようやくリーダーたちや大人たちもピザを口にすることができた。

ピザは生地と焼き具合とかが評価のポイントとなりやすいが、今回の決め手はソース！ はぐるま農園の手作りピザソースが新鮮なトマトをそのまま絞られたような味わいは絶品だった。

自分たちが収穫した野菜で「地産地消」、そして真心込めて作られた野菜たちはみんなを笑顔にしてくれた。



のおしらせ

菅生こども文化センター

☎044-976-0444

2・9・16・23・30日(火) 16:15~17:30
卓球クラブ

小学4~6年 クラブ員 100円/月

3・10・17・24・31日(水) 14:30~16:30
あそべば 誰でも 無料

3日 七輪の日
10日 ドッチビー大会
17日 小物入れ作り
24日 竹ポックリづくり
31日 おいもパーティ

4・11・18・25日(木) 15:30~16:30

居菓子屋「ぶん」
誰でも 10円~(但し1日100円迄)

6日(土) 13:00~15:30

すがおこども大学 (大分県:やせうま)
小学生20名 200円 2日×切

9日(火) 10:30~15:30

ともりやと遠足
小学生20名 無料 要申込 〆切4日

10日(水) 15:00~16:30

おやつづくりクラブC&E (ガトーショコラ)
3~6年クラブ員 170円

19日(金) 10:45~11:30

がががらんど (防災講座)
幼児とその保護者 無料 当日ご参加ください

19日(金) 15:00~16:30

やさしいおやつづくりクラブ
(南アメリカ・ピカロン)
1・2年クラブ員 150円

26日(金) 10:00~15:00

もぐもぐ亭 (肉豆腐定食)
誰でも 300円 要申込 〆切24日

27日(土) 10:00~15:00

ONEぱーく (お好み焼き&リーダーを探せ)
2~6年 150円
3年生以上は定員無し 22日×切

蔵敷 こども文化センター

☎044-977-2577

3・10・24・31日(水) 16:00~17:00

ぞうさんのポケット 誰でも 無料
3日 七輪の日
10日 第1回アスレチック王決定戦!
24日 ハーモニカづくり
31日 ハロウィンスイーツハント

5・12・19・26日(金) 15:00~16:30

だがし亭きらびい
誰でも 10円~(但し1日100円迄)

6日(土) 13:00~15:30

すがおこども大学 (大分県:やせうま)
小学生20名 200円 2日×切
※菅生こども文化センターで実施

17日(水) 15:30~16:30

忍者駆羅武
小学生 無料

18日(木) 10:30~11:30

こぶんらんど (おばけに変身どろろんぱ!)
幼児とその保護者 無料 当日ご参加ください
※地域子育て支援センターすがおで実施

20日(土) 14:00~16:00

Kids キッチン (イモンプラン)
小学生 30名 150円 要申込 〆切17日



10月26日(金)

肉豆腐定食

みんなで「夕ご飯」

どうですか?

菅生こども文化センター

17:00~夕食作り(自由参加)
18:30 開店~20:00
誰でも 300円 要申込 〆切24日